

保育士試験 「社会的養護」 過去問分析 出題予想 (傾向と対策)

※社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士の資格者は免除される科目

はじめに 試験問題の解答には文章や文脈による“流れ”をつかむことが大切です。以下の文章に何度も同様の表現が出てきますがご理解ください。ケアレスミスは「分かった!!」と思った瞬間に問題を全部読むことを中止したり、読み返すことをしなかったりするために発生するケースが多いのです。とくに事例は日常の経験から解答できる問題がほとんどといっても過言ではありません。試験は受験して合格するだけでなく保育についての必要な知識が自然と理解できるので、勉強していてとても充実した気持ちになります。当然合格した時の達成感は言うまでもありません。

1. 解答形式 過去 50 問中

不適切(正)形式 18 ○×形式 17 ()形式 10 組合せ形式 4 並替 1

○×は絞り込み 組合せは文章をよく読み文脈で 不適切問題はよく読んで確実に社会的養護に関して○×形式が前回は0問、前々回は2問と解答形式に変化が現れてき始めた。難易度としては絞り込みがしやすくなっている分、得点度は多少増している感じはする。

2. 6割12問(10問出題は6問) 得点のための出題出所内訳(キーワード)

- A 各種指針 合計9問 うち児童養護施設運営指針 合計3問
- B 里親関連 合計8問
- C ガイドライン(里親含む) 3問
- D 法律 「児童福祉法」及び「児童虐待の防止等に関する法律」2問
- E 人物 合計 2問

(出題されたキーワード)

児童福祉法

児童養護施設運営指針3問、情緒障害児短期治療施設運営指針、乳児院運営指針、里親及びファミリーホーム養育指針、母子生活支援施設運営指針

社会的養護自立支援事業、社会的養護関係施設における親子関係再構築支援ガイドライン、里親委託ガイドライン、被措置児童等虐待対応ガイドライン、子育て短期支援事業

児童の権利に関する条約、児童憲章

3. 国内人物

高木憲次 野口幽香 堀文次 糸賀一雄 石井十次 石井亮一 留岡幸助 渋沢栄一 過去50問の中で出たすべての人名。とくにアンダーラインの人物は施設名と連携して覚えておいてほしい。テキストの最初の部分に一覧表があるのでざっと目を通しておいてください。

4. 児童養護に関する施設

出題の形式はいろいろだが全体の4割を占めるので、施設の種類と特性を一覧からある程度の把握が必要。定型の質問が多く、確実に得点できる可能性が高い。施設の対象者や職員についてもイメージしよう。

5. 里親関連

確実に出題されると思っていいだろう。里親は要保護児童を養育することを希望する者が都道府県知事が認められること。テキストが里親について一覧表にまとめてあるのでそれぞれの違いを理解しよう。ファミリーホームも里親登録するものとしのないものがあるので要注意。

6. 科目としての難易度

この科目は教育原理とセットなため、私は社会的養護ではほぼ30点をとれていたにもかかわらず、教育原理で落として合計4回も受験する羽目になってしまった。これから受験される方にこの悔しい思いはさせたくない。一見すると出題範囲がずいぶん広いように見えるが、里親と施設の特性をきちんと整理しておけば、ほぼ6問に到達すると考えている。

ご注意：この出題予想で試験が合格できるわけではありません。受験する人のモチベーションアップに貢献することで、受験勉強をより楽しく、効率的にしたいという思いで作成しています。

参考テキスト

「保育士 完全合格テキスト 上・下」翔泳社

参考サイト

厚生労働省

参照法令

社会福祉法 児童福祉法